

# 全国漁業信用基金協会 山口支所

## 1. 山口県の紹介

山口県は、本州最西端に位置し関門海峡を挟んで九州と対峙しています。北は日本海、南は瀬戸内海、中央部には、日本最大級のカルスト台地『秋吉台』とその地下に広がる大鍾乳洞『秋芳洞』があり、豊かな自然に恵まれています。

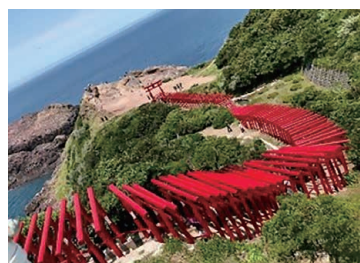
県内には、赤間神宮、角島大橋、元乃隅神社、青海島、長門峡、錦帯橋などインスタ映える観光スポットがたくさんあります。



【赤間神宮】



【角島大橋】



【元乃隅神社】



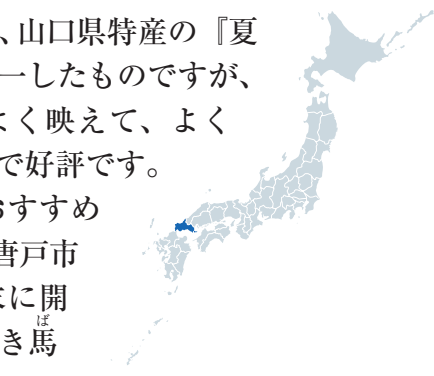
【錦帯橋】

山口県の道路をドライブした経験がある方は、ご存じかもしれませんが、県が管理している国道や県道にはオレンジ色のガードレールが取り付けられています。これは、1963年の山口国体が開催された際に、景観

整備の一環として、山口県特産の『夏ミカン』の色に統一したものですが、海や山の風景によく映えて、よく目立つということで好評です。

観光の一番のおすすめは、下関にある『唐戸市場』です。毎週末に開催される『活きいき馬関街』では、多数の海鮮屋台が出店され、高級魚のフグ、のどぐろ、アラなどのお寿司や丼ぶりなどを、リーズナブルに食べることができる『寿司バイキング』が楽しめます。

観光に来られた際は、是非、海沿いのウッドデッキや屋上の芝生広場に座って、海峡を眺めながら新鮮なお魚をご堪能下さい🐟



【オレンジ色のガードレール】



【唐戸市場】



【活きいき馬関街】

## 2. 山口県の水産業

全国で6番目(1,503km)に長い屈曲に富んだ海岸線を有する山口県は、日本海、瀬戸内海、響灘と三方が海に開かれており、多彩な海産物の宝庫となっています。

日本海側では、湾や島しょ、天然礁が数多く点在し、大陸棚が遠く対馬、朝鮮半島まで達しています。このため、イワシ、アジ、サバ、イカ等の回遊性魚種を対象とする、まき

網・敷網漁業（棒受網、すくい網漁業）、フグ、アマダイ等の延縄漁業、イサキ、カサゴ等の釣漁業、下関漁港を基地とする沖合底曳等の沖合漁業や、アワビ等の採貝漁業、定置網漁業等が営まれています。

一方、瀬戸内海側は、西部海域を中心に広



大な干潟を形成し、エビ類等の小型底曳漁業や採貝、潜水漁業が盛んです。また、中東部海域には数多くの島々が点在し、岩礁域に富んでおり、マダイや、タコ、タチ、メバル、ハモ、ナマコ等の宝庫で、小型底曳網、建網、釣、延縄等の漁業が行われています🐟



### 3. 山口支所の概要（令和4年度末）

- 住 所：下関市大和町1丁目16-1
- 電 話：083-261-1237
- 会員総数：62名
- 出資総額：1,298,100千円
- 保証残高：1,561,235千円
- 職 員：3名



【下関漁港ビル】

### 4. 山口支所の今後の取り組み

山口支所の主な保証取引は、遠洋・沖合漁業者から近海漁業者へ、そして現在は沿岸漁業者へとシフトしてきました。山口県の漁業就業者の高齢化が全国トップレベルで進んでいる影響もあり1件あたりの保証額、保証残高は近年減少傾向となっています。漁船や漁網のリース事業がありながら、他県の支所と比べ伸び幅が少なかったことは否めません。

これからも引き続き、近代化資金、小口営漁資金、小口生活資金の推進を図り、県漁協、県・市と連携を図りながら、漁業に従事されている方が必要とする資金に応えるべく保証の確保に努めていきたいと考えております🐟

